

さつま町学校再編だより

平成29年12月発行 さつま町教育委員会 教育総務課

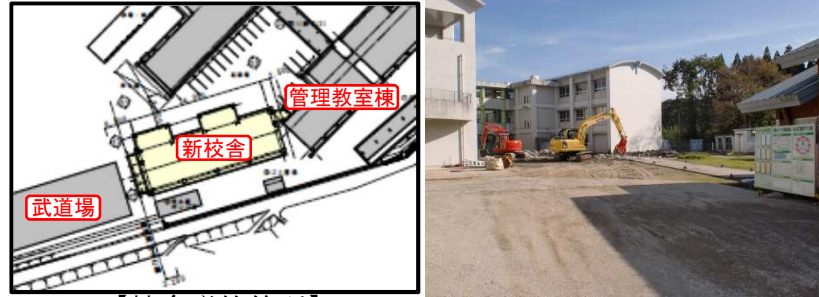
中学校再編

1. 学校施設等の整備

①宮之城中学校校舎増築等工事

南側の管理教室棟と武道場の間に鉄筋コンクリート3階建て1,197㎡（11教室）の校舎を新たに建設するため、10月から工事に着手しました。

工事は、平成30年9月までを予定しています。工事の間は大型車両等の通行が多くなり、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。



【校舎増築箇所】

【工事の状況】

②クラブハウス建設・グラウンド改修について

クラブハウスについては、旧宮之城高等学校から使用している建物で老朽化が著しいことから建て替えを、グラウンドについても排水対策としての改修を平成30年度に予定しています。

2. 中学校再編準備委員会の状況

平成27年1月に設置した「中学校再編準備委員会」により、平成31年4月開校に向け様々な協議がなされています。

①中学校再編後の制服について

基本仕様に基づき提案された男女合計52着について、各提案業者からのプレゼンテーションを行い、男子は夏服・冬服を各3着、女子は夏服・冬服（中間服含む）を各4着に絞り込みを行いました。

なお、絞り込みにより選定した制服については、今後各小学校に展示する機会を設け、保護者からの意見を募る予定です。

＜制服の取り扱いに係る決定事項＞

- 平成31年度入学生より新宮之城中学校の制服を使用する。ただし、現中学校の制服も使用して差し支えない。
- 平成30年度以前の在校生は、現中学校の制服を使用する。ただし、平成31年度以降、新宮之城中学校の制服も使用して差し支えない。

選定した推奨品の一部



【男子冬服】

【女子冬服】

②中学校再編後の通学手段について

現在運行している路線バスを活用できるよう、時刻の変更等についてバス会社と協議を進めています。また、路線バスの運行がない地域については、現在見直しを行っている地域公共交通網形成計画において、新たなバス停の設置や生徒が利用する時間帯での運行ができるよう調整を行っています。

③校歌・校章について

校歌の歌詞及び校章のデザインについては、案を作成いただいており、詳細について協議・調整を行っております。

④教育課程等について

学校経営方針や教育目標等の教育課程及び校訓については、4中学校の校長連絡会で協議を進めています。また、靴や体操服、部活動に関する事項等について、4中学校で組織する再編部会（教頭・教務主任部会、生徒指導主任部会、部活動担当者部会等）により、協議を進めています。



【中学校再編準備委員会】

●中学校再編準備委員会の委員構成

組織区分	人数
中学校学校長	4人
中学校PTA代表	4人
区公民館等地域代表者	4人
女性委員（中学校保護者）	4人
小学校保護者代表	9人

平成27年1月から定期的に会議を開催し、平成28年度からは、小学校保護者代表も委員に加え合計25人で協議を進めています。また、個別項目を協議するため「総務・通学部会（部会員17人）」で制服等の調整を行っています。

小学校再編

1. 第1次学校再編の状況

平成28年4月より、盈進小・白男川小・泊野小・平川小が再編し盈進小学校へ、柏原小・柊野小・紫尾小が再編し柏原小学校へ元気に登校しています。

今回の学校再編だよりでは、再編した小学校の児童・保護者の意見を紹介します。

●児童の意見

- 同じ学年でスポーツができることや遊ぶ人数が増えて良い。
- 解けない問題や分からないことを聞く人が増えて聞きやすくなった。
- 人数が多くなり、授業中の私語が多く感じる。

●保護者の意見

- たくさんの同級生と過ごすことができ、とても良い刺激になると思う。
- 友達が増え、固定された関係性からの解放感を感じているようだ。
- 異学年との交流をどのようにしているのか分からない。
- PTA全体で一丸となっている雰囲気を感じられない。PTA総会等への出席者が少ない。



【スクールバスによる登校】

2. 第2次学校再編計画について

平成28年8月に策定した第2次再編計画（案）により、再編の対象となる地域で説明会や意見交換を行っています。



【流水小学校区での説明会の様子】

再編対象校	再編場所	目標年次
求名小学校 永野小学校 中津川小学校	(現) 薩摩中学校	平成33年4月
流水小学校 鶴田小学校	(現) 鶴田中学校	平成34年4月

さつま町立小・中学校の適正化に関する答申に基づき、複式学級の解消を目的として計画しています。

流水小学校・鶴田小学校の再編については、鶴田方面6公民館連絡協議会（鶴田区・神子区・湯田区・柏原区・紫尾区・柊野区）から要望書の提出があり、上記答申の内容と精査したうえ、計画したものです。

●説明会等で出された意見

【求名小・永野小・中津川小校区】

- 複式学級の解消とあるが、規模が大きくなることで自分の意見が言えなくなるのでは。
- 地域から学校がなくなるのは、大変さびしいことである。学校を核に地域も活動を行っている。
- 地域から学校がなくなると更に地域人口の減少に繋がる。定住対策に取り組むべきである。
- 薩摩中学校までの通学となると距離が遠くなるので通学手段も考えていただきたい。
- 未就学児の保護者や再編時に小学生がいる保護者などの意見を尊重して計画していただきたい。
- 話がまとまるまで時間が必要である。再編の時期を考慮していただきたい。

【流水小・鶴田小校区】

- 先生方の指導のもと、児童も良くあいさつをしてくれる。できれば学校を残していただきたい。
- 急な話でびっくりした。地域や保護者が知らない中で勝手に進んでいる感じがする。
- 鶴田中学校の場所に再編することで、鶴田幼稚園を無くさないで欲しい。
- 鶴田中学校となると、歩道がない所など危険な箇所が多い。通学路の整備を進めていただきたい。

上記のほか、様々な要望・意見等をいただいております。

将来を担う子ども達のためにも、学校規模の適正化を図り、お互いが切磋琢磨する中で、コミュニケーション能力を高め、豊かな社会性を育てる機会を確保することが重要です。

学校再編には、保護者や地域の皆様の理解が必要です。今後も必要に応じて意見交換等を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。